

## 読むこと②

### 第2学年

## 登場人物の気持ちや出来事について、想像を広げながら読むこと

### つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

叙述に込められている登場人物の気持ちの変化を想像することができない。

「ひよとして、だれかが、きみに お手紙をくれるかもしれないだろう。」

「きょうは、だれかが、きみに お手紙くれるかもしれないよ。」

「だって、今、ほく、お手紙をまっっているんだもの。」

「信じてほしい」「早く来てほしい」「本当のことを言いたい」といった、かえるくんの強くなっていく気持ちを読み取ることができない。

### 実践の概要

単元名

音読げきをしよう

『お手紙』 光村図書

目標 人物の気持ちを場面ごとに読み取り、全体を通して、気持ちがどのように変化したかを読むことができる

- 内容
- 登場人物の会話や行動、場面を整理する。
  - 叙述をもとにして、場面ごとに登場人物の気持ちを読み取る。
  - 読み取ったことを音読劇にする。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	宮沢賢治が創り出す世界を味わおう	登場人物の相互関係や場面についての描写をとらえることができず、主題にせまる考えをもつことができない。
第5学年	すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう	一方的なものの見方から抜け出せず、主題にせまる感想をもつことができない。
第4学年	読んで考えたことを話し合おう	登場人物の姿・様子について、文中の一部から表面的にしかとらえられない。
第3学年	場所の移り変わりをとらえて感想をまとめよう	中心人物の様子を表す言葉から、中心人物の置かれている状況を想像して、気持ちを書くことができない。
第2学年	音読げきをしよう	叙述に込められている登場人物の気持ちの変化を想像することができない。
第1学年	音読発表会をしよう	場面の様子や登場人物の言動を表す言葉を見つけ、想像を広げることができない。

### 単元末の目指す姿

- 動作化をすることで登場人物の視点をもつことができ、その人物に寄り添って気持ちを想像することができる。
- ワークシートを用いて、根拠を明らかにしながら登場人物の気持ちの変化を読み進めていくことができる。

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

### 動作化を取り入れながら、言動と気持ちを結び付けさせる。

活動のねらい▶ 登場人物になりきることで、どんな考えや気持ちが理由となって、その言動を行っているのかを関連付けることができる。

#### ここがポイント

役割演技をすることで、立場による感じ方の違いに目を向けたり、自分の経験と関係付けたりする手助けとする。“動作の変化”や“繰り返し”に着眼させることで、その中にある人物の気持ちを想像できるようにする。

#### 授業の様子



「かたつむりくん、早く来て！」っていう気持ちがどんどん強くなって、がまんできなくなってきたんだよ。

なぜ同じようなことを、かえるくんはくり返しているのだろう。

#### (期待される児童の姿)

動作化をしながら、登場人物の視点に立ち、言動を追っていくことで、その理由となる気持ちをとらえていくことができる。また、行動を比べていくことで、直接は書かれていない人物の気持ちを考えることができる。

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

### ワークシートを用いて、自分の考えをまとめた上で、意見を交流する活動を行う。

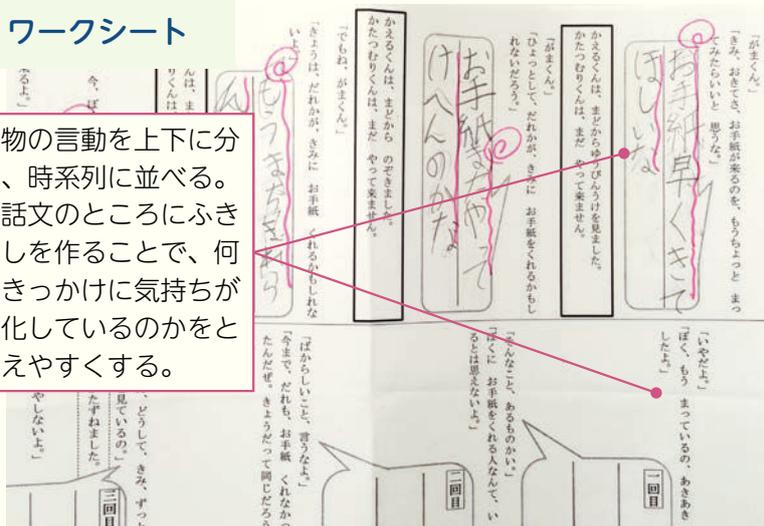
活動のねらい▶ 自分の考えや立場を明らかにした上で、全体交流に臨むことができる。

#### ここがポイント

ワークシートへの書き込み手順を毎回同じにしておくことで、児童がスムーズに作業できるようにする。登場人物の言動を上下に分け、時系列に並べることで、どの言葉や行動で人物の気持ちに変化があったのかをとらえやすくする。

#### ワークシート

人物の言動を上下に分け、時系列に並べる。会話文のところにふき出しを作ることで、何をきっかけに気持ちが変わっているのかをとらえやすくする。



【かえるくん】

【がまくん】

#### (期待される児童の姿)

登場人物の会話文から、その言葉の中に隠された気持ちを考えることができる。また、意見交流では、友達との考えを比べることができ、自分の読みを深めることができる。